

平成26年度 事業報告

1 概 要

平成26年4月に消費税が8%に引き上げられてから、1年が経過しました。増税前の駆け込み需要からの反動で、昨年4月以降は、消費が落ち込んだようですが、地域経済は徐々に回復してきているようです。

このような状況の中、当センターは多くの会員が就業を通して生きがいの充実と社会参加を図り、あわせて活力ある地域社会づくりに寄与することを目的に活動を推進してきました。会員の拡大、就業機会の拡大を目指し、会員・役職員が一体となって取り組みました。

平成26年度の契約金額は、請負・委任契約による受託事業2億2,427万円、一般労働者派遣事業1,702万円を確保し、前年度比5%増加しました。就業延人員は、請負63,961人日、派遣3,791人日、合計で67,752人日となり、2,070人日増加し、過去最高を達成しました。正会員数は、53人の入会があったものの退会者が68人を数え、年度末で600人となりました。

今後も、基本理念である「自主・自立、共働・共助」を遵守し、臨時的かつ短期的又は軽易な業務に係る就業の機会を確保し、会員である高齢者の希望に応じてその就業の機会を数多く提供してまいります。

以下、平成26年度の実施事業について報告します。

2 事業実績

過去5年間の事業実績

請負・委任契約による受託事業

年度	会員数	受注件数	契約金額	前年度比	就業実人員	就業率	就業延人員
22	594人	2,427件	196,064,816円	107.8%	555人	93.4%	56,678人日
23	576人	2,613件	200,088,101円	102.1%	531人	92.2%	58,838人日
24	591人	2,809件	219,352,223円	109.6%	546人	92.4%	63,031人日
25	615人	2,778件	217,287,975円	99.1%	543人	88.3%	62,905人日
26	600人	2,765件	224,266,185円	103.2%	518人	86.3%	63,961人日

一般労働者派遣事業

年度	登録会員数	受注件数	契約金額	前年度比	就業実人員	就業率	就業延人員
22	7人	1件	1,283,310円	-	7人	100.0%	243人日
23	17人	2件	7,387,928円	575.7%	17人	100.0%	1,362人日
24	14人	3件	5,623,432円	76.1%	14人	100.0%	1,087人日
25	24人	11件	12,500,144円	222.3%	29人	100.0%	2,777人日
26	27人	12件	17,022,158円	136.2%	31人	100.0%	3,791人日

3 実施事業

(1) 就業機会の確保・拡大

①受託事業

「一会員一就業先開拓」を目標に受注拡大に取り組みました。

消費税が4月から8%に引き上げられ、それにともない、発注者に新税率に対応した契約金額に改定していただきました。仕事の内容によっては、改定を行わない場合もありましたが、配分金の増額になりました。

その結果、事業実績は、受注件数2,765件（前年度比99.5%）、契約金額2億2,427万円（前年度比103.2%）となりました。職種別では、植木剪定・雪囲い作業、施設管理、屋内作業が増加しました。一方、障子・襖張りや果樹農作業がやや減少しました。

なお、就業開拓推進員や女性就業拡大推進員の配置はなりませんでしたが、職員が兼務してその役割を果たしました。

②一般労働者派遣事業

県連合会が派遣元となる派遣事業は、受注件数12件（前年度比109.1%）、契約金額は1,702万円（前年度比136.2%）となりました。

発注者の指揮命令を受けて就業ができることから、今後も受注拡大が期待されます。

③子育て支援事業

天童市の補助事業として実施している親子の広場「子育てサロンのびのび」は、平成19年4月にオープンしてから約8年間、高齢者が培った知識と経験を活かし、子育て支援に取り組んできました。

平成26年度で補助が終了することから、3月20日で閉館しました。この間、大勢の親子に利用していただき、世代を超えた交流の機会を通して、心豊かな子どもたちの成長とお母さんたちの子育てを応援することができました。

小学生を対象にした「みどりのスクール」は、笹巻きづくり20人、門松づくり24人、陶芸教室12人の参加を得て実施しました。

④家事援助・生活援助事業

家事援助や介護の知識・技能及びマナーの習得を目的とした「コミュニケーションの取り方」の研修（17人）を実施しました。しかし、年々就業会員の確保をするのが困難になっているところです。

⑤高齢者世帯への軽度生活援助事業

今年度は、269世帯の利用があり、ごみ出しや屋内清掃、除雪作業等で500件の受注に応じました。今年度は、雪が多かったのですが、会員不足のため件数が減少しました。

⑥シニアワークプログラム地域事業（SP事業）

シニアワークプログラムは、雇用・就業を希望する55歳以上の高齢者を対象にした講習事業で、県連合会の委託で緑地管理補助員業務講習を開催し、11人が受講し技能を習得しました。また、県連合が主催し当市で開催した子育て支援講習にも協力し、受講者の支援を行いました。

(2) 安全・適正就業の一層の推進

①安全就業・就業マナーの向上

「安全は、すべてに優先する」を徹底するため、委員による安全パトロールを5回実施しましたが、残念ながら傷害12件、物損1件の事故が発生しました。また、県連合会安全就業巡回訪問があり、植木、除草に重点を置きパトロールをしました。

安全・適正就業委員会では、安全就業対策を検討し、屋外作業の会員を対象に安全講習会（受講者55人）、健康教室（受講者21人）を実施しました。今後とも、事故ゼロを目指し、会員の安全就業と健康増進に取り組みます。

明るい話題として、県連合会の安全標語募集で会員2名が入選し、それぞれ優秀賞、佳作に輝きました。

②適正就業

請負・委任事業と一般労働者派遣事業を区分するため、就業内容・契約関係について確認を行い、適正就業の推進を図りました。

③就業調整

就業相談日を月1回開催し、就業機会の提供に努めました。

また、会員に公平な就業機会を提供するため、発注者とローテーション就業やワークシェアリング就業について調整を図りました。

未就業会員には、理由等を詳細に確認することができなかつたため、今後の課題として捉え対応していきます。

④有料職業紹介事業

この職業紹介事業は、請負・委任、派遣に次ぐシルバー事業の3つ目の働き方になるのですが、県連合会とともに運用方法を検討中であることから、今年度の実績はありませんでした。

⑤地域班・職群班の強化

総会、地域班会議、地域班のボランティア活動及び一斉ボランティア活動等への出席者は増加しました。しかし、一度も出席できなかった会員が約200人あったもの事実であり、来年度こそ出席できるよう地域班長等と調整を図り広報活動も充実していきます。

就業先ごとに安全で適正な就業を徹底するため、会員同士のコミュニケ

ーションと就業に関する連絡調整を目的とする職群班の強化に取り組みました。

⑥技能講習の実施

県高年齢者就労活性化事業として、農業支援講習会（さくらんぼ管理スキルアップ 22 人、果樹農作業の基本 40 人、家庭菜園・農薬肥料 37 人）、子育て支援講習会（15 人）、後継者育成講習会（門松製作 75 人、植木技能 36 人、賞状技法 13 人、障子張り替え 14 人）を開催し、技能の向上と後継者の育成を図りました。

(3) 普及啓発事業の強化

①会員の確保

広報紙「シルバーてんどう」を 3 回発行し（1 回は全戸配布）、全面リニューアルしたホームページの活用等を通して、シルバー事業を PR しました。また、公民館にのぼり旗の設置、ポケットティッシュの活用、ビブスを着用してボランティア活動等の普及啓発活動を行いました。会員数 650 人の目標に到達できず、年度末会員数は、600 人になりました。

②事業説明会（入会説明会）の強化

市報に会員募集の記事を掲載し、新規入会希望の高齢者に対して理事が担当して説明会を開催しました。

(4) 組織及び運営基盤の強化

①国・市の補助金については、平成 26 年度で子育て支援事業費補助金は、終了になりましたので、これ以上補助金の削減を行わないように要望していきます。

②国が掲げる「生涯現役社会活躍応援事業」は、会員を増強するなどしてシルバー事業の基盤拡大を図るものです。就業延人員目標の 65,000 人日に対して 67,752 人日、新規入会会員数 80 人に対して 53 人でした。シルバー事業中期計画の策定を検討しています。

③運営組織及び事業活動の状況に関する県の立入検査がありました。その結果、平成 24 年度及び平成 25 年度の公益目的事業会計決算において、認定法第 14 条に定める収支相償の原則を満たしていないことを指摘され、2 年連続で発生した剰余金の解消に向けた計画を報告し、改善を図りました。

(5) ボランティア活動の強化

10 月 18 日（土）には、会員 130 人参加のもとにボランティア活動を展開したほか、各地域班において公園や公民館の掃除など、地域に密着した活動を展開し、シルバー事業の普及啓発に取り組みました。